



# 2016 年度活動報告書

発行:2017 年 6 月

公益財団法人大阪YWCA 東日本大震災被災者支援チーム

2011 年 3 月 11 日「東日本大震災」が起きました。  
私自身、大阪 YWCA で活動していたことをきっかけに 2013 年から半年ほど仙台での仕事を  
得、その傍ら被災された方々との出会いがありました。  
いろいろな仮設にうかがい、たくさんの方とお話をする機会をいただきました。  
前を向いて頑張ろうとされている方、つらかったこと、しんどかったことなど話してく  
ださる方もいらっしゃいました。

震災から 6 年がたち仮設に住まれていた方々も少しずつ仮設を出て、新たな生活を始  
めたという話も聞きます。

一方福島では大勢の方が震災以降今でも不安な日々過ごされています。  
また、福島というだけでいじめや差別に合うなど、とても悲しい現実があります。  
6 年がたち、ニーズは変わってきていますが、震災直後から続けてきている保養プログ  
ラム「わいわいステイ」の必要性を改めて感じています。

また、昨年には熊本に続き鳥取など各地で地震が続いています。

私たちにできることはわずかかもしれませんが、被災された方々に寄り添える活動を  
続けいきたいと願っています。

2017 年 6 月

大阪 YWCA 東日本大震災被災者支援チーム

砂子 礼



公益財団法人 大阪 YWCA

〒530-0026 大阪市北区神山町 1 1 - 1 2

T E L (06) 6361-0838 F A X (06) 6361-2997

e-mail info@osaka.ywca.or.jp <http://osaka.ywca.or.jp/>

## ■大阪わいわいステイプログラム 2016/7/26（火）～8/1（月）

参加者：10名 ボランティア：延べ70名

### ◇スケジュール◇

日にち	子どもたちの過ごし方	宿泊先
7/26(火)	福島から大阪に移動 夕食後、真夏の夜のおはなし会に参加	こども館
7/27(水)	大阪観光 海遊館へ	ホストファミリー宅
7/28(木)	夏休み子どもミニスクールに参加	
7/29(金)		
7/30(土)	夏キャンプ「灼熱の料理人」に参加	キャンプ場
7/31(日)	場所：吹田市支援体験交流センター わくわくの郷	ホストファミリー宅
8/1(月)	大阪から福島に移動	—

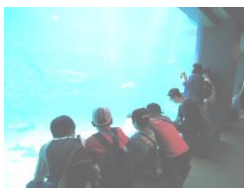
### ◇7/26 福島→大阪

午前10時、JR福島駅の新幹線改札前で集合。みんな少し緊張気味です。仲間の印のおそろいのバンダナを受け取り、見送りに来て下さった保護者のみなさんと一緒に記念撮影をして出発です。新幹線の中では、自分の呼ばれたい名前を書いて名札を作ったり、折り紙をしたりして過ごしました。大阪YWCAに到着すると、会員さん達が手作りのおいしい夏野菜カレーを準備して待っていてくれました。デザートはゼリーまで、おいしくいただきました。夕食の後は、夏休み特別企画「真夏の夜のおはなし会」に参加。手遊びや読み聞かせ、少しこわいお話などを楽しみました。この日の宿泊場所はシャロン千里こども館。夜は女の子も男の子もまじってのドッチボール大会で盛り上がりました。



### ◇7/27 大阪観光

2日目は、大阪観光。「海遊館」に行きました。電車での移動中も、「今どこの駅」、「あと何駅」、と大阪の路線図を見ながら楽しみました。到着すると、まずはお昼ごはんです。タコ焼き、キャベツ焼き、オムライスなど大阪ならではの食べ物が並ぶフードコートで、それぞれ食べたいものを選びました。1番人気はキャベツ焼き。女の子たちは色々な種類を買って、分け合って食べていました。海遊館では、グループに分かれて館内を見てまわりました。大水槽のジンベイザメやマンボウに見入ったり、タッチプールでエイの背中をなでたり、思いきり楽しみました。見物した後は、これも楽しみのお土産タイム。記念にペンギンのお財布を買って、すぐに使いはじめたり、おそろいのマスコットを買ったり、福島の友だちや家族へのお土産を買ったりしました。この日は、シャロン千里に一度帰った後、これから4泊お世話になるホストファミリーのお宅に向かいます。はじめて会うホストファミリーさんに、ちょっと緊張しつつ、元気にあいさつをして、帰っていきました。



### ◇7/28、29 子どもミニスクール

#### 7/28 楽しい社会科、理科実験講座と大阪名物お好み焼き作り

午前中は、低学年と高学年に分かれて、学校とは一味違う楽しい社会科の授業と昼食のためのお好み焼きの準備を行いました。お好み焼き作りでは、卵を割って、小麦粉と混ぜ、生地をつくることからはじめ、ホットプレートを使って焼きました。自分で焼くと味も格別だったようで、5枚も食べたメンバーもいました。



午後からは水蒸気の力を利用して進む船を作りました。釘や金づち、キリなどを使うかなり難しい作業でしたが、助け合いながら制作し、ビニールプールの中をぐんぐん進む立派な船ができました。

## 7/29 楽しい英語講座「英語であそぼ」

昨日に引き続き、梅田の子どもミニサマースクールに参加しました。昨日一緒だった大阪のお友達ともたくさん会話をしている子どもたちの友達を作る早さに驚きました。午前午後共に英語の授業でしたが、2人の先生が交代して授業をしてくれていたのも、子どもたちも飽きることなく、笑顔で先生の出す質問に英語を使って答えていました。フルーツバスケットやビンゴゲーム、じゃんけんなど子どもたちが楽しめるゲームを使った英語の授業は、少し緊張していた子どもたちもすぐに慣れ、笑い声が堪えませんでした。最後に授業を頑張って受けたご褒美にデザートを食べると、授業を頑張ったからか美味しそうに食べていて、最後まで満面の笑みの子どもたちでした。

## ◇7/30～31 キャンプ「灼熱の料理人」

7/30からは1泊2日の日程で、夏キャンプに参加しました。大阪の子どもたち17名も参加、総勢27名のメンバーが5つのグループに分かれて活動しました。今年のテーマは「料理」です。「普段できないことをする」を目標にグループで協力して2日間を過ごしました。



初日はシャロン千里の2階ホールに集合。夜ご飯のピザづくりに向けてグループで作業を進めました。ダンボールを使ってピザオーブンを作成し、ピザ生地を練り上げました。グループでの作業は、最初こそ初対面のメンバー同士ぎくしゃくした様子でしたが、グループリーダーの声かけて作業を進めていくうちに、次第に打ち解けていくのがわかりました。午後、出来上がったピザオーブンと生地を自分たちで持って、シャロン千里から徒歩20分のわくわくの郷キャンプ場へ向かいました。午後の暑い日差しの中、みんなかわるがわる順番にピザオーブンを持ち、協力して移動しました。キャンプ場に到着とさっそくピザ作りです。

ソーセージ、ピーマンなど与えられた食材をグループで話し合っ分けて、メンバー一人ひとりがそれぞれピザを仕上げました。できたピザはダンボールオーブンに炭を入れて焼き上げました。ダンボールの内側に貼ったアルミホイルに炭の熱が反射して、20分もするときれいにピザが焼きあがりました。

キャンプ場での宿泊はテントです。今回はテントが小型だったためグループ全員が一つのテントで寝ることができず、2つのテントに分かれることになってしまいました。誰がどちらのテントに寝るのか話し合いで決めましたが、全員が納得できるように決めるのがなかなか難しく、苦労したグループもあったようです。

2日目午前は、ゲーム大会。キャンプサイト周辺に隠された宝をさがしたり、全員で鬼ごっこしたりしました。リーダーを巻き込んだ鬼ごっこでは、みんなが思い切り体を動かして遊びました。午後は、エアコンのきいた涼しいシャロン千里に戻り、お菓子作りをしました。きな粉棒、ラムネ、アイスクリームを自分たちで作って食べました。食べたことはあっても自分で作ったことのないものばかり。きな粉棒を気に入ってレシピをもらって帰るメンバーもいました。

いつもの山や湖での夏キャンプとちょっと違った「料理」をテーマにした今年の夏キャンプ。ピザやお菓子作りなど盛りだくさんな内容となりましたが、「われら、灼熱の料理人」の合言葉のもと、参加したメンバー全員が一丸となって活動した2日間でした。

## ◇8/1 大阪→福島

最終日は行きよりずいぶん大きくなった荷物をかかえて新大阪駅で集合。最後のお土産タイムでは、家族から頼まれたものを一生懸命さがして大忙しの様子でした。



仲良くなったホストファミリーさんとはここでお別れです。お礼を言って、記念撮影をして、別れをおしましました。帰りの新幹線では、おしゃべりが盛り上がり、思わず笑い声が大きくなることもありましたが、笑いながらもお互いに「シー！！」と注意し合っていました。郡山駅で、7名のメンバーが解散。デッキに出て新幹線のドアがしまるまで手を振っていました。



■stand by you vol. 5 2017/2/25 (土) 18:30~21:30

会場：雲州堂 参加者：27名 寄付額：30,000円

参加アーティスト：けんきち、クボタ竜次、ロボ&ピース、健吉

恒例となりましたチャリティーコンサート、stand by you も5回目を迎えました。

今回も、長年ボランティアとして関わってくださっているシンセサイザー奏者で作



曲家の熊井健吉さんのご協力のもと、盛大に開催することができました。参加アーティストさんたちの素敵なステージと、わいわいステイをはじめとする大阪YWCAの被災者支援活動報告であつという間の3時間でした。ライブチケットによる収益はすべて大阪YWCAの被災者支援活動にご寄付頂きました。毎回本当にありがとうございます。このイベントは、YWCAの活動を、YWCAのことを知らない方々にお知らせする貴重な機会です。楽しい時間を過ごしながらかお知らせできることは、大変ありがたいことです。また次回、多くの方々とお目にかかれることを楽しみにしております。

■街頭募金 2017/3/11 (土) 15:00~17:00

於：JR大阪駅南 阪神百貨店西側 参加：5名 募金達成額：6,739円

ちょうど地震が起きた日(3月11日)に実施、直近のマスコミ報道も多く、行き交う人々の関心が高いに違いないと期待して臨んだが、集まった額は昨年の約3分の1だった。それでも、呼び掛けに応じて、「東北出身だから」と財布を開く方、横断歩道を渡ろうとしたところを振り返って幾ばくか入れてくださる方など、決して少なくはない人数の方が反応してくださった。道行く人は、忘れかけていた記憶を呼び覚まされたのかも知れないし、福島の子どもたちが屋外で十分に遊べない事に気付かれたのかも知れない。やはり、3.11に近い日程に実施する意味はあると感じた2時間だった。



**2016年度大阪YWCA東日本大震災被災者支援活動にご寄付下さった皆様**

朝岡千晶、大杉美耶子、川崎明恵、岸田晃子、阪中雅博、佐藤恵津子、白井邦子、砂子興一郎、田中亜子、西村元延、西村由紀子、日本基督教団核問題連絡会、日本基督教団甲東教会エリコの会、日本基督教団大阪城北教会、大阪YWCA大宮保育園、大阪YWCA千里委員会、千里クリスマス会参加者一同、大阪YWCAクリスマスバザー実行委員会、stand by you 参加者一同

**\*この他、大阪YWCA設置の募金箱にも多数の募金を頂戴しました。ご協力ありがとうございました\***

◇2016年度大阪YWCA東日本大震災被災者支援 収支決算◇

収 入		支 出	
助成金	900,000	旅費交通費 参加者・引率移動費等	412,970
寄付金	330,282	プログラム費 キャンプ参加費、食材等	308,519
プログラム収入	84,000	通信運搬費	7,082
受取利息	19	消耗品費	3,040
前期からの繰り越し	120,224	保険料	5,360
		事務局諸経費等	315,524
		次期繰り越し	382,030
計	1,434,525	計	1,434,525

※助成金：公益財団法人俱進会、公益財団法人日本YWCA